

電気自動車用の 充電器を初めて設置

～環境省「平成21年度省エネ照明デザインモデル事業」に採択～

最新鋭の環境配慮型店舗オープン！

～1/22(金)セブン-イレブン京都出世稲荷前店開店～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長 最高執行責任者<COO> 井阪 隆一）は、2010年1月22日（金）環境モデル都市である京都市に、最新鋭の省エネ設備を導入した環境配慮型店舗「セブン-イレブン京都出世稲荷前店」を開店いたします。

この「セブン-イレブン京都出世稲荷前店」は、太陽光で発電した電気を店内照明等に使用し、店内に太陽光を取り入れるトップライト（天窗）と店内照明のLED化により電力量を大幅に削減した最新鋭の環境配慮型店舗として、環境省の「平成21年度省エネ照明デザインモデル事業」にも採択されております。

またセブン-イレブン・ジャパンとして初めてとなるプラグインハイブリッド（PHV）車の導入に合わせ電気自動車用の充電器の設置や、新たに駐車場の遮熱舗装、壁面緑化等を施し、より周辺環境にも配慮した店舗となっております。

当社は従来より、エネルギー効率の高い省エネ型設備を導入しているほか、店舗施設・設備の定期点検やメンテナンスを実施し、各店舗における消費電力の削減に努めています。

記

1. 環境配慮型店舗の概要

- 店 名 : セブン-イレブン京都出世稲荷前店
- 開 店 日 : 2010年1月22日（金）
- 住 所 : 京都市上京区千本通二条下る聚楽町 854
- 営 業 時 間 : 24時間年中無休

2. 環境配慮型店舗の特徴

- ① 太陽光を最大限に活用する
 - ・ 太陽光発電 ⇒ 太陽光発電を店内照明として消費
 - ・ トップライト ⇒ 店内に太陽光を取り入れ、照明の電力量を削減
- ② ロスの少ない総合的なシステムを構築
 - ・ 直流（太陽光発電）から直流（LED照明）で消費することにより、直流から交流に変換するロスのない仕組み
 - ・ 天候や時間帯に合わせて自動で最適な室内照度を保ち必要以上の消費エネルギーを削減
- ③ 店舗の空間全体で省エネを図る
 - ・ LED照明や太陽光の反射を考慮して内装デザイン（内装材）を検討
 - ・ 温かみのある床（セラミックタイル）の使用
 - ・ 清潔感と高級感のあるカウンターの使用
 - ・ フロントガラスについても断熱ペアガラスを導入

④最新の省エネ設備の導入

- ・ 設備什器の照明を LED 化
- ・ 冷凍冷蔵庫の室外機からでる排熱を利用した給湯設備の導入
- ・ 冷凍冷蔵庫のドアから霜取りヒーターを撤去（特殊ガラスの対応）
- ・ 省エネ型の空調設備の導入
従来のダクト型の空調から省エネ型の天井カセット式空調に変更
- ・ ミストによる室外機の冷却により、夏季の運転効率を上げ消費電力を削減【初の取り組み】
- ・ 省エネ型換気システムの導入（熱と湿度を無駄にしない、全熱交換機の採用）

⑤循環型設備の導入

- ・ ゴンドラについてはリユース品を導入、資源の有効活用

⑥周辺環境にも配慮

- ・ 駐車場内に遮熱舗装を採用し、日射による舗装面の温度上昇を抑えることでヒートアイランド現象を軽減
- ・ 敷地を囲む外壁を緑化することによるCO₂削減効果【初の取り組み】

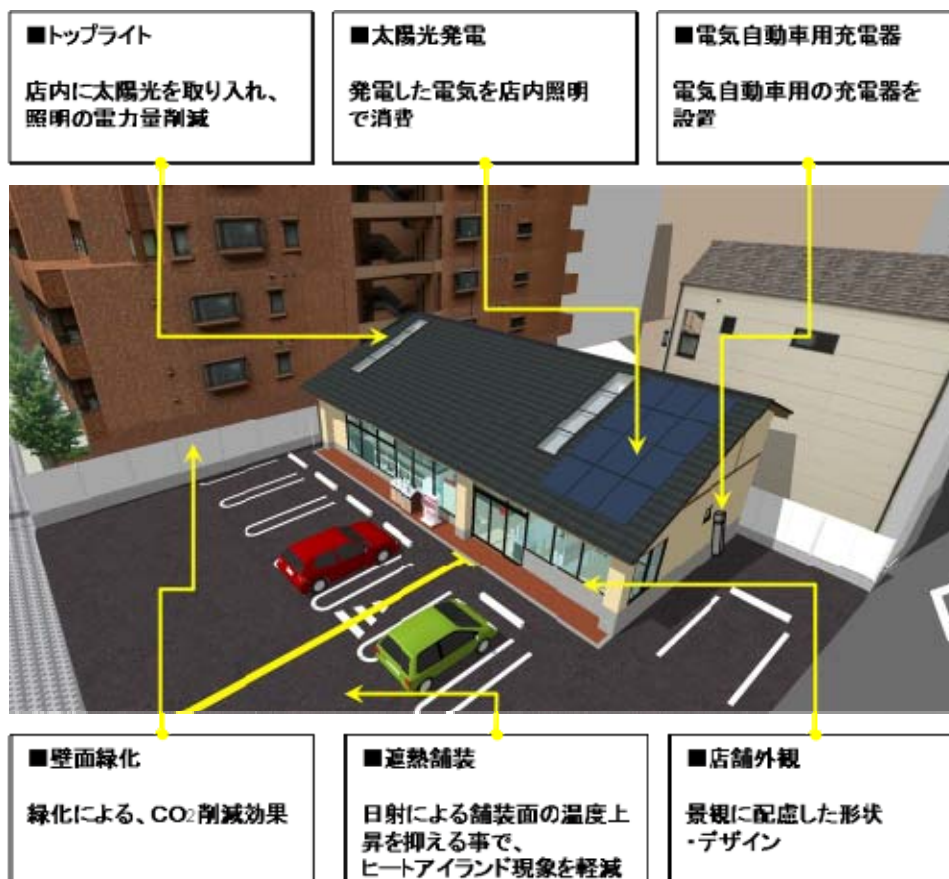
⑦電気自動車用の充電器の設置

- ・ PHV車の導入（全国で10台）に合わせて、電気自動車用の充電器をセブン-イレブン・ジャパンとして【初めて設置】

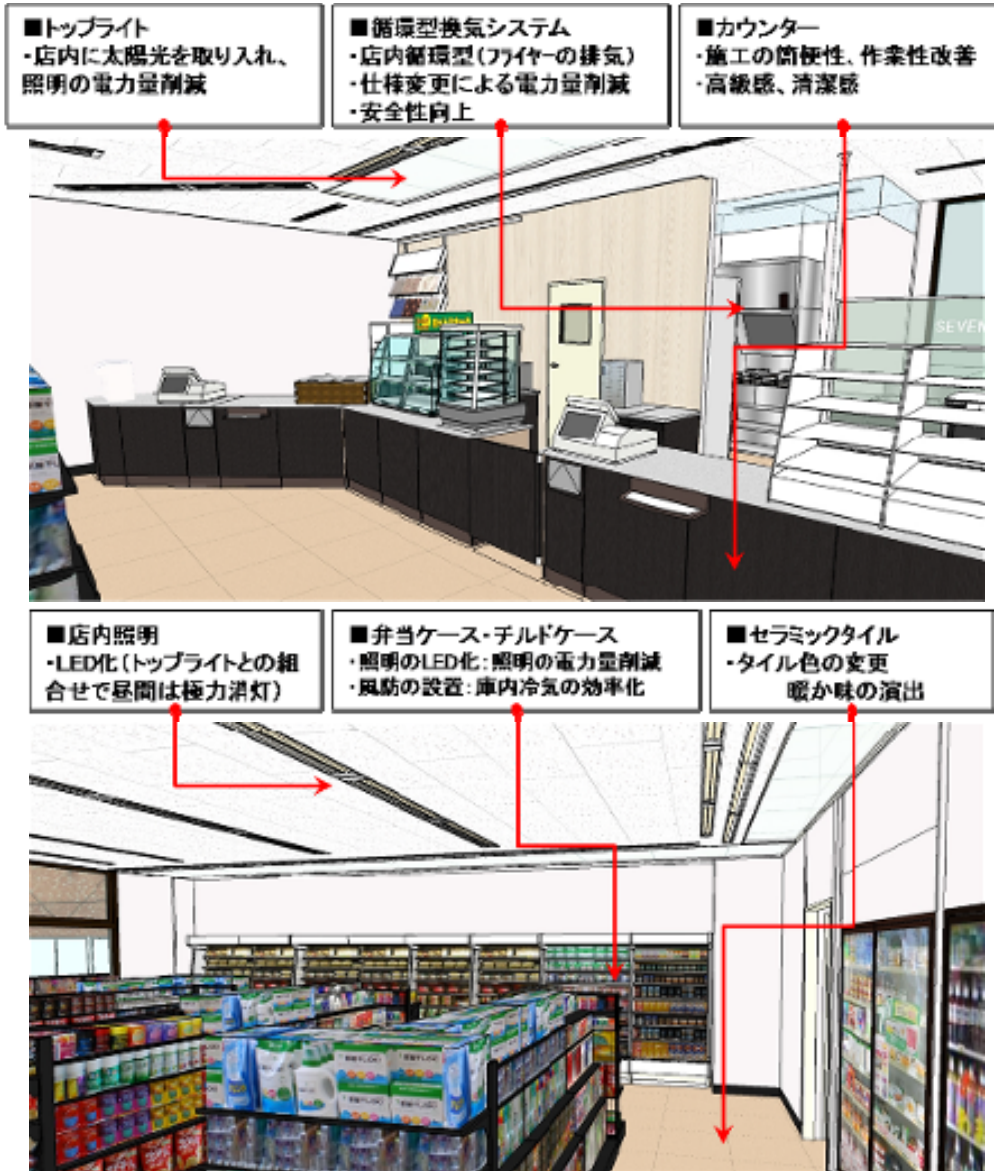
3. 省エネ効果（1店あたりの消費電力量）

- 削減電力量： 約53,000kWh/年（2008年度比約30%削減）
※2008年度1店あたりの平均178,000kWh/年

4. 店外の省エネへの取り組み項目



5. 店内の省エネへの取り組み項目



6. その他の取り組み



以上

セブン-イレブンホームページはこちら

<http://www.sei.co.jp/>

【参考】セブン-イレブン店舗における省エネの取り組み（沿革）

時期	内容	年間消費電力削減量
1977年3月	店内照明 照度の調整 1000lx⇒800lx	▲8760kwh/年
1978年2月	リーチインドア枠に温度感知式の結露防止ヒーターを設置	▲7530kwh/年
1980年3月	省エネ型蛍光灯の採用	▲1752kwh/年
1980年3月	新店の店内照明に段調光を採用	▲3011kwh/年
1980年4月	冷暖房の温度を固定 冷房：28℃ 暖房：18℃	▲6607kwh/年
1980年5月	店内照明を 800lx⇒700lx	▲2882kwh/年
1981年3月	冷凍リーチインケースの断熱材の改善	▲7008kwh/年
1984年1月	空調暖房用ヒーターの廃止	▲1923kwh/年
1996年8月	吸気型空調機導入により換気扇を廃止	▲1437kwh/年
1997年11月	電灯・空調用節電装置導入	▲8672kwh/年
1998年1月	高断熱・高密度店舗の開店	▲1927kwh/年
1998年10月	チルド・ウォークインケースのインバータ式コンプレッサーの導入	▲4175kwh/年
1998年10月	空調機のインバータ式冷凍機の導入	▲2065kwh/年
2004年4月	オープンケースの運転制御	▲4700kwh/年
2007年3月	店内照明を効率的な配置とセラミックタイルの採用	▲2750kwh/年
2007年8月	IH おでんウォーマーの導入（2008年8月全店完了）	▲1757kwh/年
2007年11月	ウォークイン扉の結露防止ヒーターの廃止	▲3843kwh/年
2008年11月	ウォークインケース照明のインバータ化	▲964kwh/年
2008年4月	冷凍機の DC 方式の導入	▲6650kwh/年

2008年2月	環境配慮型実験店舗「長野吉田2丁目店」開店 （エネルギー効率の高い省エネ照明の導入）	▲1292kwh/年
2008年11月	環境・景観配慮型実験店舗「上賀茂榊田町店」開店 （景観配慮、店頭看板・サインポールに LED を使用、冷凍機の廃熱を利用した給湯設備）	▲7879kwh/年
2009年8月	環境配慮型店舗「多摩豊ヶ丘4丁目店」開店 （太陽光発電、トップライト、店内照明に LED を使用、ロスの少ない配電システム、省エネ型空調設備の導入、省エネ換気システム）	▲53000kwh/年 (概算)